

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 17 年 11 月 10 日 (2005.11.10)

【公表番号】特表 2002-500753(P2002-500753A)

【公表日】平成 14 年 1 月 8 日 (2002.1.8)

【出願番号】特願平 10-538825

【国際特許分類第 7 版】

G 0 1 N 21/64

G 0 1 N 21/77

G 0 1 N 21/78

【 F I 】

G 0 1 N 21/64 Z

G 0 1 N 21/64 F

G 0 1 N 21/77 D

G 0 1 N 21/78 C

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 3 月 4 日 (2005.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成17年3月4日

特許庁長官 殿



1. 事件の表示

平成10年特許願第538825号

2. 補正をする者

住所 アメリカ合衆国 コロラド 80206, デンバー, ガイラー
ストリート 1899, ルーム ビー22

名称 クレア ケミカル リサーチ エルエルシー

3. 代理人

住所 〒540-6015 大阪府大阪市中央区城見一丁目2番27号
クリスタルタワー15階

氏名 (7828) 弁理士 山本 秀策

電話 (大阪) 06-6949-3910



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

6. 補正の内容

請求の範囲を別紙のとおり補正します。



請求の範囲

1. 1以上の蛍光体または蛍光体を含む物質によって発せられる蛍光の1以上のパターンを見るための可視光発光画像化システムであって、該蛍光体は、励起タイプの光によって励起され得、かつ、発光タイプの光を発し得、ここで、該発光タイプの少なくとも一部分は、該励起タイプと異なる波長であり、該システムは、

以下：

a) 光源であって、該蛍光体を励起するための光を発する光発生構成要素、および該光発生構成要素と該蛍光体との間に位置づけられる励起光学フィルタを備え、該励起光学フィルタが、該励起タイプの光を透過し、かつ該発光タイプの光の透過を防ぎ、ここで、該光源が紫外線領域にある光を実質的に含まない光を発する、光源；ならびに

b) 該蛍光体からの光を受けるように位置づけられた発光光学フィルタであって、ここで、該発光光学フィルタは、該蛍光体からの該発光タイプの光を透過させ、かつ該励起光の透過を防ぐ、発光光学フィルタを備える、システムであって、
該システムは、該蛍光体によって発生された蛍光のパターンが可視化され得るよう配置される、システム。

2. 前記蛍光体と光学的に接続されて位置づけられる光検出器を備える、請求項1に記載の発光画像化システム。

3. 前記光検出器が、カメラ、スキャナまたは肉眼である、請求項2に記載の発光画像化システム。

4. 前記光発光構成要素が、カラーである、請求項1に記載の可視光発光画像化システム。

5. 前記光発生構成要素が、前記肉眼にとって青色または緑色に見える、請求項4に記載の可視光発光画像化システム。

6. 前記光発生構成要素が、1以上の蛍光灯を備える、請求項1に記載の可視光発光画像化システム。

7. 前記発光光学フィルタおよび前記励起光学フィルタがカラー光学フィルタである、請求項1に記載の可視光発光画像化システム。

8. 前記励起フィルタが、可視光領域の長波長カットオフフィルタである、請求項1に記載の可視光発光画像化システム。

9. 前記発光フィルタが、可視光領域の短波長カットオフフィルタである、請求項1に記載の可視光発光画像化システム。

10. 前記励起フィルタが、肉眼を覆って配置されるように適合される、請求項1に記載の可視光発光画像化システム。

11. 前記光源、前記励起光学フィルタおよび前記発光光学フィルタが、一体型水平ゲル電気泳動ユニットの構成要素である、請求項1に記載の発光画像化システム。

12. 前記光源、前記励起光学フィルタ、および前記発光光学フィルタが、一体型垂直ゲル電気泳動ユニットの構成要素である、請求項1に記載の発光画像化システム。

13. 前記光源および前記発光光学フィルタが、一体化薄層クロマトグラフィユニットの構成要素である、請求項1に記載の発光画像化システム。

14. 前記光源が、携帯ユニット中に位置づけられる、請求項1に記載の可視光発光画像化システム。

15. 請求項1に記載の可視光発光画像化システムであって、ここで、前記励起光学フィルタが、第1の偏光方向を有する前記励起タイプの偏光光線を透過し、かつ該第1の偏光方向とは異なる偏光方向を有する光発生構成要素からの光の透過を防ぎ、ここで、該発光光学フィルタが第2の偏光方向を有する該発光タイプの偏光光を透過させ、かつ該励起タイプの光の透過を防ぎ、そして、ここで、該第2の偏光方向が、該外第1の偏光方向とは異なる、画像化システム。

16. 前記蛍光体が、約100nm未満のストークスシフトを有する、請求項1に記載の可視光発光画像化システム。

17. 励起タイプの光によって励起され得、かつ発光タイプの光を発し得る蛍光体により発せられる蛍光の1以上のパターンを見る方法であって、ここで、該発光タイプの少なくとも一部分は、該励起タイプと異なる波長であり、該方法は、以下：

a) 該蛍光体または該蛍光体を含む物質に、光源から紫外線領域にある光を実質的に含まない可視光を方向づけ、それによって、該蛍光体が該発光タイプの光を発する工程であって、ここで、該光源は、光を発する光発生構成要素を備え、該光の少なくとも一部分は、該励起タイプであり、そして、該励起光学フィルタは、該光発生構成要素と該蛍光体との間に位置づけられ、ここで、該励起光学フィルタは、該励起タイプの光を透過し、かつ該発光タイプの光の透過を防ぐ、工程；

b) 該発せられる光を発光光学フィルタに透過させ、このフィルタが該蛍光体からの該発光タイプの光を透過させ、かつ該励起タイプの光の透過を防ぎ、それによって該蛍光パターンの画像を形成する、工程；ならびに

c) 肉眼または他の光検出器を用いて該画像を見る工程；を包含する、方法。

18. 請求項17に記載の方法であって、前記蛍光体は、以下：

蛍光で染色されたDNA；

蛍光で標識されたタンパク質；および

蛍光タンパク質

からなる群より選択される、方法。

19. 前記蛍光体が、ゲル中にある、請求項17に記載の方法。

20. 前記蛍光体が、生きた生物である、請求項17に記載の方法。

21. 前記蛍光体が試験管のアレイ中で見られる、請求項17に記載の方法。